

## 令和3年度第4回鳥取県協働連携会議の概要について

- ・日 時 令和4年3月24日(木) 午前10時～11時10分
- ・場 所 第6会議室(本庁舎地階) ※WEB会議
- ・出席委員 委員11名中8名出席  
事務局：県民参画協働課、職員支援課、他関係課

### 【議題】

- (1) 民間提案事業サポートデスクの対応状況について
- (2) 鳥取県協働連携ガイドライン(最終案)について

### 【会議の概要】

#### 議題1 民間提案事業サポートデスクの対応状況について

民間提案サポートデスクで令和3年4月1日から令和4年3月10日までに対応した提案・相談案件(32件)のうち、提案者と担当課で検討・対応し、対応方針案や対応結果が出た案件(対応中4件)について検証を行った。

#### (1) 対応中の案件(4件)

##### ①みなとさかい交流館2階展示ホールの民間事業者による有効活用

###### <提案内容>

- ・みなとさかい交流館2階展示ホールを有効活用し、地域の賑わい創出を図りたい。

###### <対応方針案・対応結果>

- ・みなとさかい交流館利活用検討会を設置して、新たな利活用策について検討を行った。
- ・当該検討の結果を受けて、公募により民間事業者を選定することを決定し、公募を開始した。

###### <委員からの主な意見>

- ・今はコロナの影響で観光客も少ないと思われるが、駅前の施設となるため人の往来があり、施設の有効活用を期待したい。上層階にはサウナ施設のようなものがあつたように記憶しているが、どうなっているのか。  
⇒みなとさかい交流館の4階に境港市が運営しているポートサウナがあるが、利用者の低迷や温泉設備の老朽化により令和4年6月末で閉鎖されると伺っている。

##### ②清潔・美・健康など幅広い分野での県との連携

###### <提案内容>

- ・プラスチックごみ削減や、手洗い講座、スキンケアメイク講座などの清潔・美・健康といった幅広い分野で県と連携したい。

###### <対応方針案・対応結果>

- ・就職・進学を目前にした高校3年生を対象にしたスーツの着こなしやメイクなどのセミナーを開催。
- ・今後、高齢者向けの身だしなみセミナーも実施予定。

###### <委員からの主な意見>

- ・特にこれから社会に出る方に向けた取組としてとても良いもので、引き続き開催を希望する声が出てくると思われる。
- ・例えば提案企業の同業他社から同種の連携の提案があつた場合でも、等しく審議・協議の上、提案を受けるのか。また、県が特定の企業との連携を進めることについて、どう整理しているのか。  
⇒同業他社から同種の提案があつた場合、協議をさせていただくことで公平性を担保する。費用負担に関する公平性の観点においては、提案企業が無償で行つた事業であり、このような費用の掛からない部分で互いがwin-winになるような提案があれば、県としては幅広く受け付けていきたいと考えている。なお、①の公共施設の利活用の提案についても、提案のあつた企業と随意契約を締結するのではなく、公募により公平性を担保している。

##### ③サイトの登録企業に行政情報を発信する広報・集客サイトの実証実験

###### <提案内容>

- ・全国の企業に向けて行政情報を発信する広報・集客サイトを立ち上げるので、実証実験を行いたい。

**【実証実験の内容】**

- ・掲載した行政情報の応募や問合せが増えたかの評価
- ・企業に対して訴求できるよう、サイトのデザインや掲載項目への改善意見

**＜対応方針案・対応結果＞**

- ・県情報の発信ツールが増えるというメリットがあるため、4月からサイトに情報を掲載し、実証実験を行う。

**＜委員からの主な意見＞**

- ・特段なし

**④県の施設での「透明ディスプレイ」の実証実験**

**＜提案内容＞**

- ・「透明ディスプレイ」に関する実証実験を県の施設で行いたい。

**＜対応方針案・対応結果＞**

- ・県庁本庁舎1階総合受付や東中西部の聴覚障がい者センターに透明ディスプレイを設置する実証実験を行う。

**＜委員からの主な意見＞**

- ・聴覚障がい者だけでなく、声を聞き取るのが苦手な方に対しても画期的な取組。
- ・コロナ禍でマスクやパーテーションにより、聞き取りづらい、表情が読み取りづらいということがあるため、透明ディスプレイによりコミュニケーションが円滑になることを期待したい。

**議題2 鳥取県協働連携ガイドライン（最終案）について**

策定準備を進めていた鳥取県協働連携ガイドラインに関して実施したパブリックコメントや県政参画電子アンケートの結果及びそれらを踏まえて修正した「鳥取県協働連携ガイドライン（最終案）」について説明を行った。

**＜ガイドラインの目的＞**

- ・県と民間事業者等による協働について具体的な手順や手法を定めることにより、協働に対する認識及び相互の役割を共有し、本県における協働連携を一層推進する。

**＜パブリックコメントの実施＞**

- ・意見募集期間 令和4年1月24日～2月10日
- ・意見総数 21件（21人）

**＜県政参画電子アンケートの実施＞**

- ・実施期間 令和4年1月28日～2月7日
- ・対象 県政参画電子アンケート会員（742名）
- ・回答数 477名（回答率64.3%）

**＜委員からの主な意見＞**

- ・パブリックコメントにおいて「公・共・私の意味がよくわからない」と回答があったが、良い意見だと感じた。意見を踏まえ、公・共・私を行政のほか、地域づくり団体とか、官民を民間事業者等と県との連携とか、書き下してもらったことで一般的な日本語になったように思う。
- ・県政参画電子アンケートの結果は「聞いたことがある」や「知っている」が少なかったが、一方で「積極的に進めるべき」という回答は多く、制度を知っていれば使いたい人も多いと思うので、引き続きPRに力を入れていただきたい。
- ・修正をいただいて、確かにわかりやすくなった一方で、またページ数が増えたと感じた。文字を読むのが苦手な人にも見ていただく工夫が必要。  
⇒手にとって見ていただくことが必要。概要版のようなものを作ることを検討させていただく。
- ・先頭に連絡先があると読み手のハードルが下がるため、ガイドラインの表紙のあたりに「まずは気軽に相談を、詳細はこちらをご覧ください」と入れるなど、読み込むのが面倒な人へのハードルを下げつつ、かつ、詳しく読み込みたい人にも分かるようになれば良いと思う。  
⇒どのようなことが可能か検討させていただく。